

平成30年度第1回四万十町立図書館協議会会議録（要旨）

日 時 平成30年6月22日（金） 13時30分～15時

場 所 四万十町役場 東庁舎2階 町民活動支援室

出席委員 林 一将、金子 仁、竹村君子、刈谷明子、須内康雄

事務局 生涯学習課課長兼図書館館長・林 瑞穂、図書館副館長・森山典将
松田佐穂、長木千葉美、谷脇八代美、山口 香、山地順子、井上千紗

日 程

1. 開会
2. 辞令の交付
3. 館長挨拶
4. 委員及び職員の紹介
5. 議題
 - ① 会長、副会長の選任について
 - ② 平成29年度 事業報告について
 - ③ 平成30年度 事業計画について
 - ④ その他
6. 閉会

1. 開会

2. 辞令の交付

3. 館長挨拶

〈林館長〉

去年から文化的施設の検討委員会ということで、四万十町の文化的施設のあり方であるとか整備について検討を始めたところです。その中で、去年についてはまず現状を認識して、今後の方向性を定めていくという年でした。今年度については、コンセプトや理念を固めていって、土台固めをしていくということで、基本構想を作る予定になっております。さっそく、7月4日にはオーテピアへの研修、7月7日にはお手元にお配りしておりますワークショップということで、具体的な動きが出てくる年となります。委員の皆さまには、様々な形でご意見をいただいて、よりよい形で文化的施設ができていくということでご協力をお願いいたします。今日も色々な提案があると思いますので忌憚のないご意見をよろしく申し上げます。

4. 委員及び職員の紹介

5. 議題① 会長、副会長の選任について

- 委員から推薦形式の提案があり、林委員を会長に推薦する。
- 林委員が推薦を了承して、会長に就任。
- 副会長を金子委員が続投。

議題② 平成29年度 事業報告について

(事務局から、平成29年度事業報告について説明。以下、質疑応答。)

〈林(一)会長〉

29年度の事業報告について、利用状況等・その内容について説明がありました。委員はもちろんですが、職員の方も一緒になって討議ができるような形にしていきたいと思いますので、十分発言をしていただきたいと思います。何かご意見はございませんか。

〈委員〉

利用状況のグラフの人口の窪川・大正・十和と、「外国」のところは何ですか？

〈事務局〉

住民で外国人登録をされている方だと思います。

〈委員〉

あとは、前年度入館者数ですが、本館の入館者数がちょっと減りすぎているように印象があります。人口減少や入館者の分散と言うものの、それにしても減りすぎているようなので、何か具体的な理由があるのかなど。

〈事務局〉

常連さんで、毎日、日参されている方が最低3人はいたんですけども、その方々が来館されていないように思います。3人とすると、1ヶ月で延べ90人なんですけども、そういうのも思い当たってはいません。

〈委員〉

でも児童も結構減っているかな？3千人台きていたのが少なくなっているのは理由があるのかなど。

貸出者数は逆に児童が、本館のほうで増えていますが、人が減っている気がしたので、何か理由があるのかと思いました。

続けて、レファレンス対応数。本館のほうで、去年は70件あったのが今年は20件と、だいぶ減っているのでは何か理由があるのかなどと思いますがいかがでしょうか？

〈林(一)会長〉

委員さんからも発言がありましたように、入館者数など数が変わってきていますが、何か説明がありますか？

〈事務局〉

27年度からはちょっとした細かいリクエストも記録するように気を付けていて、記入する線引きというか、調べ上げて出すのと、配慮しているのは変わらないので、「ここまでのなら記入しなくてもいいか」ということがあったのは、あります。

〈委員〉

基準というか、運用が変わったと。

〈林(一)会長〉

今の件ですが、入館者数その他、変わっておりますが、最初の頃には大正分館もちゃんとした形ではなかったわけですので、急に3000から7000台になっているわけですか？本館のほうが減っているのは、大正地域の人が本館まで来て利用することがありましたが、大正に（図書館が）出来ましたので、地元で利用するようになったことが一つの原因ではなかろうかと。

他に委員さんのほうで、またあとで意見が出て結構ですので、それぞれ今の件については、グラフと数字で説明があった通りです。

〈事務局〉

本館の利用数が減っていることですが、新刊がかなり少ないんですね。かなりガラガラの状態なので、（書籍数が）足りてないんじゃないかなとはちょっと思います。無いから大正分館に借りに行くというのはあるので、本館も本を増やしたほうがいいかなと思うんですけど。

〈委員〉

それは図書館の予算が減っているということですか？

〈事務局〉

変わってはないけれども、利用者さんが来てくれて、でもいつも棚が空いていたりして、で、大正分館で借りていいことになったら、行く人はいるんじゃないかなと。

〈事務局〉

本館は特に新刊が少ないので、「いつ来ても新刊が無い」みたいな印象を利用者さんが受けるのかなと思われまます。

〈林(一)会長〉

はい。この議題について他にないのであれば、終わりました議題③に移りたいと思います。

平成 30 年度の事業計画について、事務局の説明を求めます。

議題③ 平成 30 年度 事業計画について

(事務局から説明。質疑応答へ)

〈事務局〉

すみません、先に一つ構いませんか？

3 番の社会科見学は、昨日、窪川中学校からも打診がありまして日程調整中です。

職業体験に来た中学生から「開館中はなかなか図書館に来られない」という話を聞いたので、中学校の先生に「団体貸出もできますけどどうですか？」とお声がけさせていただきました。具体的にどうなるかは、予定を繰っていくという形で。またこれからですけれども。以上です。

〈林(一)会長〉

はい。事務局から説明と補足説明がありました。

この件は非常に多くの事業が実施されておりまして、たくさんの計画が出て活動しております。

委員の方でこの件について発言を頂きまして、検討していただきたく思います。

質問もご意見も一緒に出していただきたいし、職員さんも、説明も含めて具体的に発言ありましたらどうぞ自由に出していただきたいと思います。

まずは委員さんから。ご意見ございせんか？

〈事務局〉

すみません。6月ということで、ずいぶん終わってしまったものもありますが。

〈委員〉

いいですか？ 館外活動のブックスタートとセカンドブックスタートに関してなんですけど。

私も健診の時にブックスタートの年齢の時に本を頂きました。図書コーナーがあって、何冊か本を読んでくださって、全部の本を実際に子どもに読んでいただいて、「この中の本から好きなを選んでください」ってことで、健診の中ですごくいいなと思いました。健診ごとに毎回ああいう図書コーナーの設置はしていますよね？

〈事務局〉

はい。あのコーナーは、大正分館と十和地域振興局で、それぞれ毎回順番に持っていっています。

〈委員〉

その時に図書館の PR というか、利用登録を促すことをされていると思うんですけど、澤田先生っていう小児科の先生が全体に向かってお話をする時間がありますよね？ あそこに図書館から一冊読み聞かせの時間みたいな感じで、全体に向けて読み聞かせをして、分館と本館の利用までにどうぞみたいな感じで、設けたらどうかなというのは、ちょっと思いました。

〈林(一)会長〉

課長。かなり細かい活動が予定されていますが、予算について執行部は十分な予算をつけてくれましたか？

〈事務局〉

そうですね。それと、県のアクションプランという補助事業があつてですね。今年は無理かと思つてましたが、駄目元で出してみようかということになって、その図書館アクションプランのおかげで色々な事業を行えるという事はありますね。

ただ、当初予算の査定の際に、県のアクションプラン補助事業は当てにならないけど、一応はやり始めたことなので、予算はつけてもらえました。

ただ、図書の購入費。例年 400 万円ですが、それにもうちょっと色を付けてくれないかというお願いはしているところです。それについては図書館整備がはっきりして、入れる所がしっかりしてからのほうがいいんじゃないかとのことで、先延ばしにはなっています。

〈林(一)会長〉

大体年 400 万円の購入費の予算で、29 年度は武田さんからの寄付金が 100 万円入つたということで 3 ページにありますように、260、240 の 500 万円がついたと、これは 100 万円というと、職員さんはかなり（蔵書が）増えたという感じがしますか？

〈事務局〉

本館では今まで買えなかった、一冊 3000 円ほどする、大活字本という本を買うことができました。よく利用者さんに「字が大きくなっている本ありませんか？」と聞かれていて、それを中心に揃えましたので冊数がすごく増えたという感じはないです。

〈林(一)会長〉

武田さんから貴重なお金を頂きましたのでね、助かつたと思いますね、ええ。

〈事務局〉

その 100 万円についても、去年の 11 月の図書館協議会で言わせていただいて、委員さんから「図書購入費に全部当てたほうがいい」とのご意見でしたので、それを追い風に、なんとか補正予算で付けてくださいと要望をして、頂いた 100 万円は全て図書購入費に当てていただきました。

〈林(一)会長〉

よくしめんと 100 万円もらつたら予算が減っていく可能性があるというね。

〈事務局〉

来年度の 400 万円の内にしようと思つてもできないことはなかつたのですが。

〈林(一)会長〉

なら今年も 400 万円の予算は付いたと。

〈委員〉

その件に関連してよろしいですか？

個人的に新刊本の読み物を借りようかなって軽く。なかなか手に入らないんですよ、貸出中で。そういう寄付金があったらですね、複数本を買うってことはありえないですか？

〈事務局〉

文学の分野は他の分野の倍くらい買っていますが、それでも 2 週間に 1 度の選書会で 10 冊分ぐらいなので、それくらいならなるべく分館とは被らないタイトルを買い揃えるようにして、ダブリを抑えているんですが、すごく人気のある本はダブリみたいで。同じ館で複数本を買ってはいないです。分館とだったらダブリこそあるみたいですが。

〈委員〉

人気があるのは仕方ないですもんね。

〈事務局〉

だから予約件数がいっぱい重なっているんじゃないかなと思うんですけど。

〈委員〉

つついね。高知市まで行くと本屋に入ってしまった。

〈事務局〉

買えない本は他の図書館で借りる時もありますが、どうしても人気があったりして新着で扱う図書館もあり、どうしてもちょっとお待たせしてしまうことはあるんで。

〈林(一)会長〉

大正分館はまだ余裕がありますか？ 本棚、書架に。冊数が増えても。

〈事務局〉

書架はまだ結構あります。

〈林(一)会長〉

本館は大体いっぱいになってきてますねえ。苦勞してると思いますが。

まだ新しい施設がどのように出来るか分かりませんので。

その他で、委員さんのほうで。

〈委員〉

はい。館外活動のところ、今年もたくさんの事業を予定してますけども。本校の生徒も現に職場体験学習でお世話になりました。

小中学校の図書館の整理業務がありますが、図書館司書が常駐してない学校にとってはこういうことをやっていただくと非常に助かります。

それとブックトークで、川口小学校の『きっとある キミの心にひびく本』というのを取り上げてやっているようですが、この本は『ひびく本』の中から紹介されるようですけども、メッセージ性があるので、どんどん進めていただきたいです。新しくリニューアルした改訂版も出ていて、ぜひお願いしたいと思います。

私たちも学校図書館で、まあ9類が多いですよ。なんともならないくらい9類が多い。これはバランスが悪すぎるので、とにかく変えろ、と。突貫で整理してますけども、4類とかですね、土木とか芸術とか自然科学とか色んな分野の本を紹介していただきたいなど。そういう本を取り揃えていただけるとすごく助かります。

〈林(一)会長〉

学校と図書館の連携が上手く行っているということですね。

〈委員〉

おかげさまで助けていただいております。ぜひ継続してもらいたい。

〈林(一)会長〉

他にありませんか？

〈委員〉

県のアクションプランの予算についてももう少し詳しく教えていただけますか？

〈事務局〉

はい。町の教育振興基本計画で定めていることに対して補助金を頂ける事業ということで、読書活動について助成を、ということだったんですけど、30年度から範囲・対象が厳しくなりました。これまでは読書活動についてだいぶ助成を頂けていましたが、学校教育に関わってくるものについて読書の比重が変わってきたといいますか。これまでならば構わなかった就学前の子どもたちに対する読み聞かせなどが、今年度から外れることになりました。セカンドブック事業がもともと県下の事業を考えながら始めたこともあったんですけど、それも対象からはずれるということで、町単独事業となってきました。

その中で大正分館の運営を29年度までは可能だったんですが、30年度から、発足して何年も経ったということで分館については助成の対象にならないとのことで、今は学校で行っておりますボランティアさんによる読み聞かせ事業と、昨年度と今年度の学校支援についても助成金を頂きながら、十和地区で近くに図書館がないので図書館の本を届ける方向で取り組みたいですとPRしながら、なんとか助成を付けられれば良いということになります。

〈事務局〉

補足ですが、県のアクションプランの方向性が「困難な環境の児童生徒への支援」に向いてしまったので、その「困難な環境にある」の理屈付けがなかなか図書館活動に結び付けるのが難しいとのことで難儀しました。今、一般的に言うなら、子ども食堂や、貧困、学力の問題というような視点に向けた支援への方向性だと思います。

ただ、過疎地で、本に対する、文化に対する支援の少ないところに光を当てていくとの理屈付けで、学校図書館への支援を行うことを中心にして、アクションプランのお金を付けていただいたというところでは。

来年度、それが納得できる理屈付けになっていくのかどうかは不透明です。

〈委員〉

昨年度に比べるとそこにかかる予算がかなり減ったということですか？

〈事務局〉

そうですね。先ほど半分くらいと話しましたが、今年度は昨年度の約半分の額の助成で、規模を縮小した関係もありまして、はい。

〈委員〉

30年度の事業計画の中で、事業を縮小したりやめてしまったりはありますか？

〈事務局〉

今のところはやめることにはなってません。やり始めたことでもありますので、できる限りは続けたいと考えております。

〈委員〉

あ、すみません。いいです。去年度もやっていたことを今年度は取り止めにになってはないんですね。ということは、予算が縮小した中で同じ内容を続けてということですね？

〈事務局〉

補助金ではなく町の単独のお金を一般財源へ入れていただいたということですね。

〈林(一)会長〉

その制度は、単年度の事業になってます？

〈事務局〉

制度自体が、また延長になると思いますが、その中で毎年申請してやることになっていきますので。

〈事務局〉

狙いを当てる部分を微妙に変えつつ色んなところに支援しようとしていくということなのでしょうけど。

〈林(一)会長〉

申請の作文がとても大事ですね。

予算の計画について、これを行う事業費につきましては、課長からお話がありましたように予算の裏付けがあるということで。非常に多くのものがありますが、これを渡らせていくということで頑張っていけないといけません。

その他の議題も出ておりますので、その他に入って色んな意見を言いたいことがあるかもしれませんので、議題④に移って構いませんか？

※ 反対意見なし

ではその他の説明を事務局にさせていただいて、議題②と③も包括的に議論していきたいと思います。

議題④ その他

事務局から説明。以下、質疑応答

〈林(一)会長〉

事務局から経緯も踏まえて説明がありましたが、これについて委員さんのほうでご意見をお伺いしたいと思います。

〈事務局〉

高知県内のいくつかの図書館では、条件付きで、近隣市町村や高知県内や、愛媛県内の高知県域に近い図書館だと思いますが、どなたでも貸し出しているところもあるにはあるそうです。こういった中で最初の規程を今後見直して変えていければと、議題に上げさせていただきました次第です。

〈林(一)会長〉

30年度には見直しをしたいということですか？

〈事務局〉

高知県内の方だったら統一できたらいいと思いました。なぜ高知県内かという、「近隣市町村」と言う曖昧で判断が難しいということがあるので、「高知県内の」であればもうちょっといいんじゃないかというのがあります。

他の自治体に四万十町民も（本を）借りに行っています。全然関係ない遠くの人でも四万十町で借りられたらいいなと思っていても規程には書いていないので図書館で見えていただくことしかできないんですが、そう希望される方は四万十町外（の図書館）でお世話になっていたら、緩やかに利用者の幅を広げていいのではないかと思います。

〈委員〉

いいと思います。私が県外で生活していた時は、どの駅で降りて乗り換えてという仕事と生活の導線があって、自分の便利のよいところで借りるのに3枚くらい図書カードを持っていましたね。いいんじゃないですかね。

〈事務局〉

実際、今の四万十市も四万十町民の利用OKだったり、最近出来た雲の上の図書館だったり高知県内や隣の愛媛県でもOKですよというような動きも出てきているので、四万十町としても（利用の範囲を）広げても何ら問題はないのかなというのが実務サイドの考えであるわけでした。

〈林(一)会長〉

またすぐに改定するわけなしに、検討したいと。

慎重にやらなくてははいけませんね。

〈委員〉

私も四万十市の図書館を利用しているので、いいと思います。

さっきおっしゃった、新刊本がいつも無くて、なかなかリクエストが回って来ないということ、利用者の幅を広げることでより起こりうると思うので、そのためにやはり図書購入費の予算を少しでも上げていただきたいです。

〈委員〉

本の返却などの管理が問題ないんだったら、むしろ広げて、広げた分だけ貸出数が多くなるから、もっと予算が必要ですみたいな。もっとちゃんとした施設にしてくださいとか。こう、図書館の分を広げていくような一つのやり方として門戸を広げるのはいいと思います。

なので、それプラス、これだけやっているんだからもっと予算付けて、までもっていったらいいんじゃないかと思います。

〈事務局〉

今は図書館の活用が、本を読むだけでなく、町のにぎわい創りといった機能も求められていますので、よそから（人が）入ってきていただけたら、食事や買い物をしていく中でお金を落としていただけるとか、あるいは交流人口を増やしていくという視点で今後考えていく必要があるとは思っています。

〈委員〉

梶原町の図書館なんかはあれだけ広報が高知新聞などに載っていて、行ってみたいし訪ねてみたい。オーテピアも開館したら行ってみたいという思いがありますよね。

四万十町も広報活動で、不定期でもいいと思うので図書館の番組を一つ作ってもらって、職員や近くの方が実際に参加して読み聞かせをやってみるとか。結構ケーブルテレビも観る方がいるみたいで、そういうのもいいんじゃないかなと。

〈林(一)会長〉

今、県下の市町村間でも、特徴のある地区がありますよね。そういう場所のことを勉強してみたいとか。今年が最終年になりますが幕末維新博も行われていまして、色んな人物が登場することがあります。市町村間の相互貸借も含めて、個人がどうしても町村の何々の本を借りたいという時、これができれば非常に有意義ですし、29年度のアンケート調査にも市町村外で貸出数が62%あると。

それから、上限を上げたらという声を含めたら28%とかなり高い率が可能になっていますね。これらも含めて慎重に検討しないといけないでしょう。今後の検討の方向としては必要だと思います。

〈事務局〉

さっき出てました返却については、広域で返却するシステムは県内にまだ無いので、もしそれが広がっても多分こちらに来て返していただくことになると思います。

ただ、岡山県などは広域の市町村で連携して、どこの図書館にも返していいですよ、と。それができているところもあるので、そういうところも勉強しながら、連携できるところはしていくとか。

あと、オーテピアが出来ることによって、県も図書館振興計画を立てて、市町村の図書館支援をかなり手厚くする考え方を持っていますので、そしたら県の物流が使えるかもしれませんし、今はなくてもこれから総合していったら使えるようになるかもしれないので、そこを含めて考えを進めていきたいです。

〈委員〉

実際にこれまでの利用者の四万十町外の方で、利用したいけど規定によって借りられないということは結構あったんですか？

〈事務局〉

たまにありました。どうしてもお読みになりたいなら地元自治体の図書館で相互貸借をお勧めすることはありましたが。分館が多いわけではないんですけど。

〈林(一)会長〉

大体皆さんの意見が、貸出の幅を広げることについて異存はないと思います。

返却についても上手く運用できれば上等だと思いますので、今後の協議で語られることになるでしょう。

今日は、組織と、29年度の事業、30年度の大きな柱で協議をして参りました。

その他で貸出の件がありましたが、他の点も含めて発言しておきたいことがあれば出していただきたいと思います。無いでしょうか？

今年度はかなりの事業がありまして、県のアクションプランも取っていただきまして、スムーズに運営できると考えておりますが、頑張ってもらいたいということもあります。

〈事務局〉

お手元に七夕ワークショップの資料をお返ししております。

7/7に文化的施設について、この岡本講師は、図書館・美術館のプロデュースをされている、全国的に有名な方でして、お招きして講演会とワークショップを行う予定です。参加自由ですので、委員の皆様もぜひ参加していただければ。

七夕の日なので短冊に願いを書くイベントをする予定ですので、図書館なり文化的施設なりへの思いを短冊に書いていただければと思っております。よろしく申し上げます。

それから、8月9月にかけてもワークショップを行って、皆さんの思いを聞きながら新しい構想を作る予定ですので、こちらについても積極的に参加していただくようお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

〈林(一)会長〉

このワークショップは教育委員会が主催ですよ？

〈事務局〉

国の地域情報化の事業を導入しております。うちが国に要請して、国から講師を派遣していただくスタイルです。

主体としては四万十町になります。

この岡本さんは、富山県立図書館のプロデュースをされた方です。全国的にも、海士町や鳥取県智頭町などの図書館を作る事業に参画されている、見識の高い方だと思います。

〈林(一)会長〉

ぜひ皆さん、参加をお願い致します。

その他について他にございませんか？

ないようでしたら、議題④については皆さんお聞きのように、前向きに検討していくということになるかと思えます。

では今日の会は終わりにしたいと思います。

今回は委員の委嘱があり最初の会で、去年度の事業報告、今年度の計画で進めました。検討していただきました多くの事業が予定されています。予算も必要な額が付いているようです。一つずつ、館長初め職員の方々に、事業がスムーズに進んでいきますようお願いを致しまして、今日の会を閉じたいと思います。

先ほども申しましたが、四万十町の大きな文化的施設を作ろうと、基本構想が出来ますので、この機会に皆さんもどしどし発言していただきまして、ぜひ町民が希望する施設が出来ますことに参加していただきたいと考えております。

以上で今日の会を閉じます。お疲れ様でした。